

第3回和歌山県医療対策協議会の協議について

【第3回協議会の主旨】

国の審議会等における専門研修募集定員のシーリングに関する議論の結果、令和2年度の募集については、本県からも意見を提出していた地域枠医師等の別枠採用が、地域医療対策協議会の承認のもと可能となりました。

そこで、本県における地域枠医師等の取扱方針を決定するための協議をお願いします。

【前回の協議会からの動きと第3回協議会開催の経緯】

- 令和元年8月29日付けで書面開催いたしました第2回和歌山県医療対策協議会での意見を踏まえ、9月5日付けで本県から厚生労働省に対し、「医師法第16条の8の規定に基づく専門研修に関する和歌山県の意見」（参考資料1）を提出いたしました。
- 本県としては、「へき地等での勤務が課されている医師については、専門研修プログラムの募集定員外での採用とすること」を意見しています（参考資料1のI-2-①）。
- 各都道府県から提出された意見を集約し、令和元年9月13日付けで、厚生労働省から日本専門医機構に対し意見書が提出され、9月20日付けで、日本専門医機構から回答が示されました（参考資料2）。
- 回答において、令和2年度開始の研修プログラムにおけるシーリングに関し、医師少数区域等に従事要件のある地域枠医師及び自治医科大学出身医師については、各都道府県の地域医療対策協議会からの申請に基づき、シーリング対象外として取り扱うこととされました（参考資料2の1(1)）。
- 第3回協議会では、令和2年度専攻医募集における地域枠医師等の取扱いについて、協議会としての方針を決定するため、各委員のご意見をお伺いするものです。

【協議の進め方】

- 資料1「令和2年度専攻医募集における地域枠医師等の取扱いについて」の内容をご確認いただき、対応方針（案）に係る意見を、別添「令和元年度第3回和歌山県医療対策協議会における意見書」に記載のうえ、ご提出下さい。
- 今回お伺いしたご意見を集約し、会長と相談の上、「令和2年度専攻医募集における地域枠医師等の取扱い方針」について決定いたします。